

全員配付

学校便り

輝く釜戸中

輝く釜戸中学校 比羅ヶ ~確かな伝統と誇りの創造~



神無月 October

2018年10月
瑞浪市立釜戸中学校
「自ら求め共に学ぶ」
生徒数78人

釜戸中学校の地域貢献活動が、日本赤十字社の発行する冊子で紹介されました。

瑞浪市立釜戸中学校

実践目標	健康・安全 奉仕 国際理解・親善 その他
活動の単位	全校 学年 委員会 クラブ その他
教育課程上の主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 総合的な学習の時間 その他 (登下校時)

1 活動テーマ

地域に貢献し、感謝の心を育てる釜戸中学校
～閉校式2年後に控えて感謝の地域貢献～

2 学校紹介

本校区は、瑞浪市と恵那市の境に位置し、国道19号線・JR中央線沿いの釜戸地区と、中山道の宿場町として知られる大湫地区からなっており、豊かな自然と中山道宿場町の歴史と文化を大切にしている地域である。

釜戸中は全校生徒78名の小規模校である。幼小中で、釜戸中校区12年間の一貫教育を大切にしている。小規模校であるが、生徒一人一人の良さを引き出す指導を展開し、「岐阜県教育奨励賞」「瑞浪市教育功労者賞」等、様々な賞を受賞し生徒たちは、母校に誇りをもち始めている。少子化に伴い、市内近隣の2つの中学校と平成31年度合併することが決まり、開校と閉校の準備を計画的に行っている。

3 活動内容

(1) 地域清掃やアルミ缶回収

生徒会が中心となって、期に一回の定期的な登校時間を活用した通学路の清掃活動や、アルミ缶回収活動での収益金を地元2つの公民館へ隔年で還元に取り組んできた。昨年度は、大湫公民館へ「防災ヘルメット」を寄贈した。



▲朝の地域清掃



▲アルミ缶回収の収益を地域に還元

(2) 積極的な募金活動

昨年度4月の熊本地震に対しても、すぐに義援金募集活動に取り組み、被災地へ義援金と共に、被災された方々へ思いを伝えた。また年末も、インクのカートリッジ回収やベルマークを回収し、熊本県の被災した中学校への寄付に取り組んできた。

「感謝の地域貢献」を五本柱のひとつとする釜戸中学校は、平成29年度に日本赤十字社から「岐阜県青少年赤十字研究推進モニター校」に選ばれました。「岐阜県青少年赤十字研究推進モニター校」は、日本赤十字社が掲げる「健康、安全」「奉仕」「国際理解」の3つの実践目標に焦点を当て、創意工夫を生かして実践を推進することが期待される学校です。県内で30校が選ばれるそのうちの1校に選ばれたわけです。そんな釜戸中学校の平成29年度の取組が、今回、日本赤十字社が発行する冊子の中で紹介されました。

こうした取り組みで、生徒たちに思いやりの心を育むことができてきた。この取り組みが生かされ、今年も、九州北部豪雨災害発生後すぐに生徒会執行部が中心となり、募金活動に取り組みを始めることができた。

全校生徒が呼びかけに応え、翌日の登校時から生徒玄関で募金する姿も多く見られた。生徒のお金だけでなく、保護者や兄弟や祖母などからの義援金が含まれており、多くの方に協力をいただいた。集めた義援金は、市の社会福祉協議会へ寄贈した。また、10月の公民館の文化祭では、赤い羽根募金にも1年生の女子が積極的に募金を呼びかけることができてきた。



▲執行部による募金活動



▲義援金贈呈式

(3)「釜戸ボランティア連合」の立ち上げ

地域の公民館が主体となる活動に対して、生徒会とは別に「釜戸ボランティア連合」を募集し、当日の運営だけでなく、企画・準備段階から積極的に参加し、会を成功に導くことができた。閉校後を見据え、中学生中心の活動から、卒業生も参加できるように組織を改編し、7人の生徒が参加登録した。



▲夏祭りボランティア

「感謝の地域貢献」は、地域への貢献を通して感謝の心を育てる活動です。今年度も、昨年度と同様に地域の施設清掃、道路清掃、募金活動、アルミ缶やインクカートリッジの回収、地域行事でのボランティア等に、生徒会を中心に取り組んできました。「感謝の地域貢献」の活動の中で地域の方とふれあい、地域の方からあたたかな声をかけていただけることで、生徒たちは活動に対する意欲を高めています。釜戸で生活する人間として、地域を愛し、地域と共に生きる気持ちを今後も大切にしていきます。引き続きご支援・ご協力をお願いします。

<p>ここがポイント</p>	<p>生徒会が中心となって「感謝の地域貢献」をキーワードに掲げ、生徒の主体性を生かした取り組みを大切にしている。</p>
<p>ここがねらい</p>	<p>今までも、ボランティア活動などを通して、地域と連携してきたが、閉校を来年に控え、「学校はなくなってしまうが、卒業後も地域のために活躍し貢献していきたい。」という意識と「感謝」の気持ちを育ませると共に、より一層、地域への愛着、釜戸・大湫地区に生きる人としての誇りを育てていきたい。</p>
<p>効 果</p>	<p>夏休み中や休日に行われる公民館主催の行事にも、ほとんどの生徒がボランティアで参加し、会の運営を成功に導いている。また、日常的なアルミ缶回収活動等ボランティア活動に対して参加意識は高い。 さらに、「お祭りの花馬づくりに中学生が自分から参加してくれたのでびっくりしました。今まで、そんなことはなかったです。」と地域から感謝の感想をいただくなど、心情面も育ってきている。</p>
<p>学校等のコメント</p>	<p>「感謝の地域貢献」を合い言葉に、生徒会を中心に自治的な取り組みを継続してきた。来年の閉校後を見据えた、釜戸ボランティア連合を立ち上げ、より地域と密接に関わった組織を作っていきたい。</p>

